

平成28年度 上益城教育事務所 取組の方向

人間尊重の精神を基底として、教職員一人一人の基本的資質と専門性を高め、「郷土に誇りを持ち、夢の実現を目指す熊本の人づくり」の理念に基づき、生きる力をはぐくむ教育を推進する。

【取組の重点】

- 1 「確かな学力」の定着 2 いじめ・不登校対策の徹底 3 教育活動全体を通じた体力向上

信頼される教職員の育成

「確かな学力」の育成	「豊かな心」の育成	「健やかな体」の育成
<p>1 検証改善サイクルを生かした授業改善</p> <p>(1) 課題改善プラン及び共通実践事項の徹底</p> <p>(2) 言語活動を適切に位置付けた、「分かる・楽しい」授業づくり</p> <p>(3) 適切な学習評価に基づく、個に応じた指導の充実</p> <p>(4) グローバル人材の育成に向けて、実態を踏まえた小中連携による英語教育の充実</p> <p>2 補充的な学習の計画的な実施</p> <p>(1) 基礎学力を確実に身に付けさせる「繰り返し指導」の徹底</p> <p>(2) 国や県の学力調査問題及びゆーチャレンジ単元別評価問題の活用</p> <p>(3) 「達成感を味わうことのできる」確認テストの工夫</p> <p>3 学習習慣の確立</p> <p>(1) 発達の段階に応じ、児童生徒自らが計画・実践する家庭学習及び読書活動の推進</p>	<p>1 道徳的実践力の育成</p> <p>(1) 「熊本の心」の効果的な活用</p> <p>(2) 授業公開等による家庭や地域と連携した道徳教育の推進</p> <p>(3) 様々な体験活動等を通して、命を大切に作る心、郷土を愛する心などを醸成する教育活動の充実</p> <p>2 いじめ・不登校対策の徹底</p> <p>(1) 「心の居場所」としての学校・学級づくり</p> <p>(2) 児童生徒の自主的活動の充実</p> <p>(3) 児童生徒一人一人のリスク管理</p> <p>(4) 専門家や関係機関等との連携強化</p> <p>3 環境教育の推進</p> <p>(1) 教科等の特質に応じた環境に関する学習の充実</p> <p>(2) 学校版環境ISO、水俣病資料館と連携した「水俣に学ぶ肥後っ子教室」の一層の充実</p>	<p>1 自ら運動に親しむ資質や能力の育成と体力の向上</p> <p>(1) 学校目標を設定し、県の体力向上プログラム等を活用した学校総体としての取組の推進</p> <p>(2) 学習指導要領に基づく授業の工夫・改善</p> <p>2 健康課題の解決に向けた取組の充実</p> <p>(1) 自校の健康課題を解決するための学校保健委員会の充実</p> <p>3 学校安全の充実</p> <p>(1) 「学校安全教育指導の手引」を活用した安全教育の充実</p> <p>(2) 防災教育の計画的な実践と防災管理（危機管理体制）の充実</p> <p>4 学校給食運営管理の充実と食育の推進</p> <p>(1) 衛生管理体制の徹底と充実</p> <p>(2) 家庭と連携した食育の推進</p>

人権教育の推進

- 1 就学前・学校教育の充実** ～人権尊重の精神に立った学校（園）づくり～
- (1) 研修の充実と推進体制の機能強化
- ア 基本的認識を深め、実践的指導力を高める計画的な研修とOJTの充実
- イ 人権問題やいじめ問題の解決に向けた、教育の果たす役割と職責の重要性の自覚と人権尊重の理念についての理解、体得、実践
- ウ 校長のリーダーシップの発揮と効果的な役割分担による推進体制の機能強化
- (2) 指導方法等の工夫・改善
- ア 言語環境をはじめ人権尊重の精神がみなぎる環境づくり
- イ 人権に関する知的理解と人権感覚の育成
- ウ 学校間及び学校と家庭・地域との連携・協力、確かな学力の育成と進路指導の充実
- エ 教育の中立性の確保、個人情報やプライバシーに関することへの十分な配慮
- 2 社会教育の充実** ～人権尊重のまちづくり～
- ア 人権に関する研修の機会の確保及び参加者の学習意欲を高める効果的な手法の工夫・改善
- イ 家庭、地域と就学前・学校教育との連携した取組の推進

学級経営の充実

地域とともにある学校づくりの推進	社会教育の推進
<p>1 特色ある学校づくりと学校改革の推進</p> <p>(1) 熊本版コミュニティ・スクール等の導入促進</p> <p>(2) 学校の創意工夫を生かした教育課程の編成と実施</p> <p>(3) 学校評価を生かした校務改革・授業改革の推進</p> <p>2 児童生徒の安全確保の徹底</p> <p>(1) 学校、家庭、地域、関係機関が連携した学校安全ボランティア活動や防犯教室等の計画的な実施</p> <p>3 幼・保等、小、中連携活動の推進</p> <p>(1) スタートカリキュラムの見直しと連携カリキュラムを活用した具体的な取組の充実</p> <p>(2) 発達や学びの連続性を踏まえた連携の推進</p> <p>4 特別支援教育の推進</p> <p>(1) 一人一人の教育的ニーズに応じた一貫した教育的支援の実施</p> <p>(2) 教職員の専門性の向上と支援体制の充実</p> <p>(3) 交流及び共同学習の推進</p> <p>(4) ユニバーサルデザインの視点に基づいた授業の工夫改善</p>	<p>1 家庭教育支援の充実</p> <p>(1) 「くまもと家庭教育支援条例」の周知及び家庭教育支援に向けて学校・家庭・地域が連携・協働して取り組む体制づくり</p> <p>(2) あらゆる機会を活用した「親の学び」の開催及び進行役の育成</p> <p>2 地域の教育力の向上</p> <p>(1) 地域の教育力を活用する仕組みの充実による地域学校協働本部の構築</p> <p>(2) 各学校の地域連携担当者等を核とした、体験・学習支援等を活用する地域学校協働活動の拡充</p> <p>3 体験活動・読書活動の推進</p> <p>(1) 青少年教育施設等を活用した体験活動の推進</p> <p>(2) 読書環境整備関連の事業等の周知及び活用推進</p> <p>4 生涯学習振興の基盤強化</p> <p>(1) 公民館等の社会教育関係機関との連携強化及び「熊本の心」の活用推進</p> <p>5 生涯スポーツの振興</p> <p>(1) 「熊本県スポーツ推進計画」に基づく、「する・観る・支える」スポーツ環境づくりの推進</p>